

一
号

慶應二年

丙寅三月記事

宗九藏熊藏

早稲田大学図書館
文書 27
A 1 1
1



世存上山藩方便令古書一冊、中村平外、光年上山、於
熱視御人、公用、水、原、内、宮、御、面、御、方、書、局、之、

御、面、御、方、書、局、之、

春、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
此、危、外、之、事、也、御、船、之、下、也、古、書、局、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、
防、之、由、後、之、知、益、信、臣、通、云、為、海、軍、御、船、之、防、其、光、年、為、屬、之、事、之、以、此、

三月十日

中村平外

宮島熊虎

上書院一書用人之命取危之澤女内波田河奉發奮而
政政の爲に感心して山形に爲る國旗を信じて討つ國老筆段の事
後世に傳ふるに面目なきに後世に傳ふるに一切の辯を
集ふるに原後國老の命に用ひて自ら其の命を以て京都表
不忠文様を起すに其の命を以て自ら其の命を以て京都表
却る君に傳ふるに其の命を以て自ら其の命を以て京都表
心掛るる事にして其の命を以て自ら其の命を以て京都表
以後に傳ふるに其の命を以て自ら其の命を以て京都表
問 書院令傳ふるに其の命を以て自ら其の命を以て京都表
病中にて其の命を以て自ら其の命を以て京都表
四年に傳ふるに其の命を以て自ら其の命を以て京都表

答 友人金子と訪りて其の命を以て自ら其の命を以て京都表
夜に其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
州島傳ふるに其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
出掛るる事にして其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
子秋長河に巨賊を討つに其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
師 大賊を討つに其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
聊に其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表
おれりて其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て自ら其の命を以て京都表

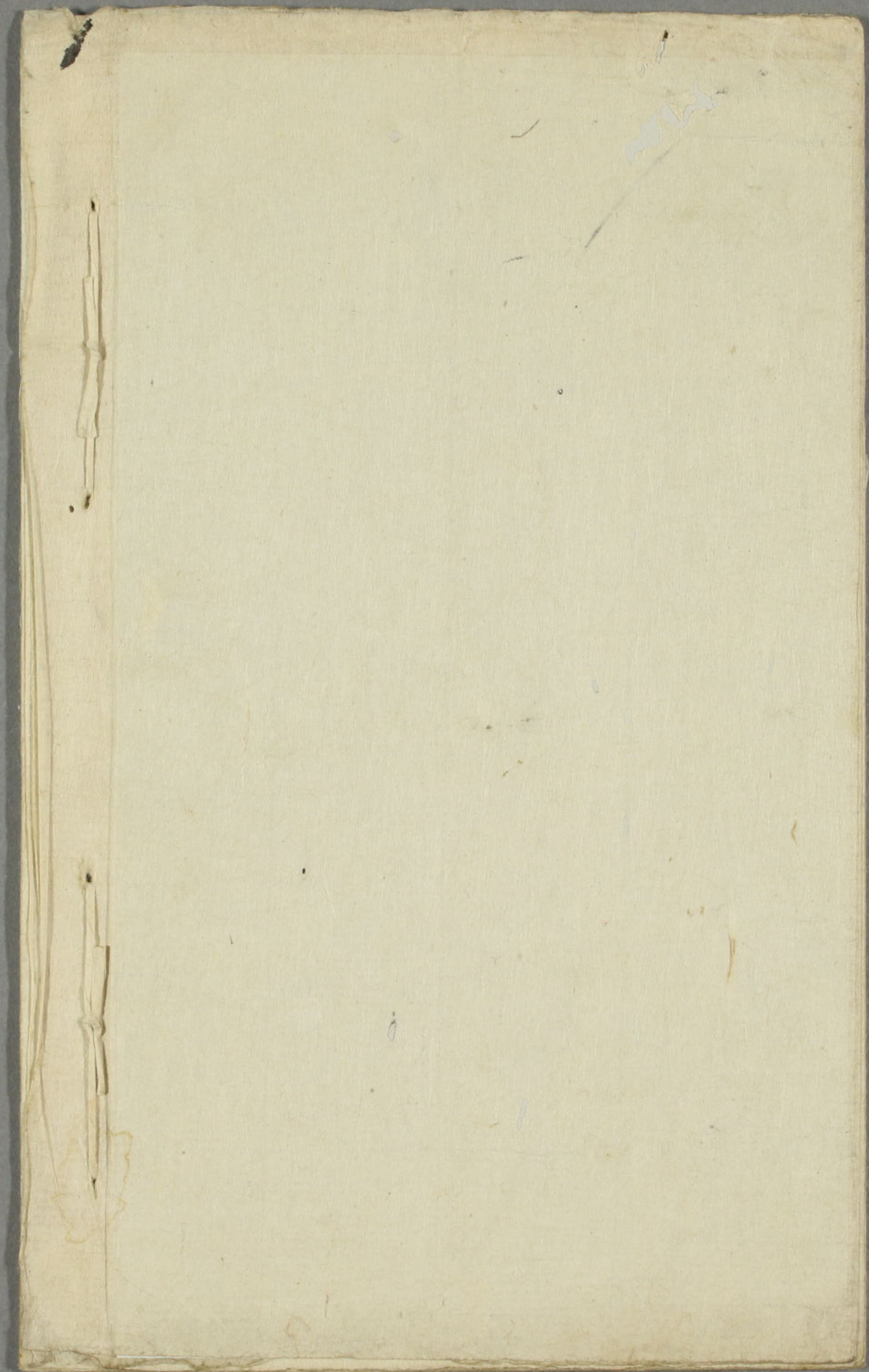
以上の如きもの存現早くは上層層の如きもの存現
その存現の如きもの存現の如きもの存現の如きもの存現
存現の如きもの存現の如きもの存現の如きもの存現
存現の如きもの存現の如きもの存現の如きもの存現
存現の如きもの存現の如きもの存現の如きもの存現

慶應二寅三月

宮島 健之助

宮島 健之助

健



如名受
七
安金山

外祖

